



2019年5月1日に開催の、34回講座「無言館・小宮山量平編集室・田んぼのソーラーシェアリング視察ツアー」



2017年9月30日に開催の、31回講座「マサイ族に学ぼう」。会場は信濃むつみ高校(松本市)

## 「信州自遊塾」の講座を ホームページ紙面で発信

### 信州自遊塾

長野県全域

信州で暮らし、働き、遊び、それぞれの分野ですばらしい活動をしている人たちをネットワークで結び、新しい時代の人間の幸せについて真面目に楽しく、考え、ともに学ぶ場を創ろうと開設された「信州自遊塾」(塾長 松本猛)。これまでは松本市などの会場での座学のほか、小旅行などの講座を開いていたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、今春からは「紙面講座」という形で活動を継続している。すでに、医療、多文化共生などのテーマで4回発信しており、今後も様々な切り口で講座を開く予定だ。

メッセージ フロム  
信州自遊塾  
塾長  
松本 猛さん



profile

松本 猛さん  
美術・絵本評論家、作家、横浜美術大学客員教授、ちひろ美術館常任顧問、信州自遊塾塾長。1977年にちひろ美術館・東京、97年に安曇野ちひろ美術館設立。同館館長、長野県信濃美術館・東山魁夷館館長、絵本学会会長を歴任。

信州自遊塾は東日本大震災で起こった原発事故を契機に、経済を最優先に、便利さや効率だけを追求してきた人間の生き方を問い直そうと2011年に発足しました。これまでエネルギー問題はもとより、自然歴史、教育、農業、林業、平和、平等などあらゆる角度から「生き方を考える」講座を、展開してきました。しかし、コロナ禍の中で講師を招き、参加者と質疑応答する形式の講座は変更を余儀なくされました。現在は、各分野の専門家に今の社会に対す

る意見や問題提起を執筆してもらい、紙面講座(Web)と、郵送会員には紙媒体)として発信する形で継続しています。  
医師によるコロナ問題を皮切りに、多文化共生・自然エネルギー・半農半Xなど4回の紙面講座を発信していますが、会員からの意見も届き、新たな可能性を実感しています。ご興味のある方は「信州自遊塾」と打ち込んでもらえば、紙面講座を読むことができます。コロナ禍は、私たちにあらためて「これからの生き方」を問いかけています。

信州自遊塾 事務局  
〒安曇野市三郷明盛  
1500-13  
☎090-4463-6182  
<http://www.jiyujuku.org/>